



2019
平成31年

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。
お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性課へ

発行 ● 狛江市地域活性課
〒201-8585 狛江市和泉本町 1-1-5
☎ 3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3
ル・ミリオン・イイダ3階 A号
☎ 3430-6617 FAX3430-6743



西河原公民館

多様な創作活動に対応

西河原公民館（元和泉2-35-1）は、福祉会館（公民館分館）として開設されたが、公民館2館体制になった昭和62年に独立、現在の名称になった。東側にあるあいとぴあセンター建設に合わせて建て替えと設備の拡充が行われ、平成6年に再スタート。さらに29年8月から30年12月まで改修工事が実施され、1月にリニューアルオープンした。

同館はのべ床面積2,973平方メートルの鉄筋コンクリート造り地上4階、地下1階建てで、音楽や演劇、陶芸、染色、紙すき、工芸、パソコン、写真などさまざまな創作活動に対応した設備を備えている。

1階は展示ギャラリー、団体活動室、事務室、面積174平方メートルの図書室がある。2階は学習室3室、料理実習室、畳敷きでステージが付き、華道や日舞などに利用できる和室、ノートパソコンやプリンターを備えたパソコン室、水屋が付いた茶室、託児のための幼児室がある。3階は可動式の客席を備えた多目的ホール、リハーサル室、4階にミニコンサートや映画会などが開ける視聴覚室などがある。地下1階は紙すきや染色、木工な

どの設備を備えた生活工芸室、写真のDPEのための暗室、屋外に陶芸窯などがある。開館時間は午前9時から午後9時30分。休館は第1・3回と祝日、年末年始。公民館施設の利用は事前に団体登録が必要。

年間7万人以上が利用

西河原公民館の年間利用者は71,160人（平成29年度）に上る。同館では成人学習事業、女性セミナー、少年事業などの年齢や性別などに



多目的ホール イベントと西河原

面積285平方メートルで定員202人。舞台照明・音響設備を備え、コンサートや講演会などに利用できる。可動式の電動イスを収納してフラットな広いスペースにもでき、さまざまに利用される。



生活工芸室

面積87平方メートル。陶芸、七宝焼、木工など、さまざまな工芸が楽しめる充実した設備を利用でき、染色、紙すきのための水場もある。



応じた各種の講座に加え、映画会などの市民劇場事業、パソコン講座などの情報学習事業、日本語教室、チャレンジ青年学級、こまえ市民大学などバラエティーに富んだ事業を展開、市民の生涯学習のニーズにこたえている。また、同館が催した講座の受講生が結成した文化団体も多い。

イベントと西河原をはじめ、年間を通じてさまざまなイベントの会場として使われている。また、「利用者懇談会」が設置され、利用団体相互の連携や交流を図っている。

問い合わせ ☎ 3480-3201 西河原公民館。



展示ギャラリー

面積50平方メートル。市の施設では唯一のギャラリーで、多くの団体が制作した作品を発表する展覧会を催す。館の入口の横にあるため、足を止めて作品を鑑賞する人も多い。



暗室

面積12平方メートル。フィルム現像の設備を備えた明室と、印画紙の引き伸ばしや乾燥などを行う暗室の2室に分かれ、白黒写真のDPEに対応した機材を備えている。

第30回いべんと西河原

第30回いべんと西河原が23日田・24日田・3月2日田・3日田に催され、同館を利用している団体などが普段の活動の成果などを発表する。

ホールでは42団体がカラオケや合唱、ハンドベル、ハワイアン、ジャズ、邦楽などの演奏、フラダンス、フォークダンス、日舞、琉球舞踊、ミュージカル、空手などを披露する。また、29団体が写真、生花、フラワーアレンジメント、俳句、書道、水墨画などの作品や普段の活動発表を行うほか、陶器市、紙すき体験、包丁研ぎなどもある。入場は無料。

問い合わせ ☎ 3480-3201 西河原公民館。

狛江ダボハゼ友の会

狛江ダボハゼ友の会（加藤治郎代表）は、平成9年に西河原公民館が開設した中高年の人を対象に地域との関わり方や生涯学習について学ぶ「西河原カレッジ 専門コース」の修了者など12人で同年末に発足した。

現在、60代後半から80代後半までの男性14人が所属、生涯学習、社会貢献、健康増進をキーワードに会員相互の研修と親睦、ボランティア活動を目的に活動している。

会の名称を、なんにでも飛び付くといわれるダボハゼにちなんで付けたという通り、活動分野が広いのが特色。全員参加の定例会と料理教室を毎月開くほか、カラオケやサイクリング、狛江近郊の施設見学を兼ねた探訪ウォーキング、親睦旅行、市内の高齢者福祉施設の慰問公演などを行っている。また、いべんと西河原に毎年参加、喫茶室をオープン、手作りクッキーを提供している。

会の運営は全員参加で行い、定例会で



狛江ダボハゼ友の会の料理教室

は月替わりの担当者が時事問題や趣味・実体験などを発表、会員が意見を交わす。

会員たちは「会員は社会への関心が高く、それぞれの経験や知識を知ることができて楽しいです」と話している。

定例会は毎月第3回午後1時～3時、料理教室は毎月第2回午前9時30分～午後1時。会費は6カ月6,000円、料理教室は1回1,000円（材料費）。

問い合わせ ☎ 3489-5654 加藤さん。

母と子と助産師の会

母と子と助産師の会（長尾紀子代表）は、ベビーマッサージを通して母子のきずなを深める活動をした



母と子と助産師の会のベビーマッサージ

いと狛江市内の助産師が集まり平成12年に発足した。現在は6人のメンバーが生後2カ月からの乳児と母親を対象に月1～2回ベビーマッサージの会を催している。会は、助産師の指導で母親と赤ちゃんが軽い体操や手遊びの後、オイルを使って赤ちゃんのマッサージを行う。また、助産師が母親にハンドマッサージをして育児の疲れをほぐしたり、育児相談、母乳相談にも乗る。おむつ替えや授乳をするのも自由で、泣き出した赤ちゃんを助産師があやすなど、なごやかな雰囲気だ。

最後にお茶を飲みながら自己紹介などをする交流会があり、ここで友人になる母親もいるという。参加者は「正しいマッサージを覚えることができて、子どもにも良い刺激になりました」「子育てに日々追われているので、助産師さんにマッサージしてもらい親子そろってリラックスできました」と喜んでいる。長尾さんは「ベビーマッサージに興味がある人、家にこもりがちで他の子育て中の人と話したい人など、気軽に来てください。子育てが楽しい、幸せだなと感じられる場になればうれしい」と参加を呼びかけている。

毎月1～2回（2月は6日回）、午

前10時～11時30分。タオル、バスタオル、防水シートを持参。事前申込制で参加費1,200円。リピーターも可。

問い合わせ ☎ 3488-2616（午後6～9時）長尾さん。

羽瑠

羽瑠（和田和美代表）は和太鼓の演奏グループ。

中学時代から和太鼓の演奏を続けてきた看護師の和田さんが、仲間を呼びかけて平成21年に結成、プロ和太鼓奏者山田ケンタさんの指導を受けながら活動している。

「和太鼓で音楽を」を目標に20代から50代までの男3人、女2人で練習に励んでおり、転勤先の名古屋から通う人もいる。メンバーの太鼓歴は15～35年とベテラン揃いで、演奏する曲は全て自作している。音楽性を高めるため音域の異なるさまざまな種類の太鼓を使うほか、演奏法にも変化をつけている。また、ドラや篠笛なども用いる。

市内の小学校など各地のイベントで演奏するほか、28年から狛江市民まつりに参加、音楽の街—狛江の駅前ライブにも出演した。26年には初の自主公演を開催、殺陣ユニットとのコラボレーション、長編アニメーションにオリジナル曲が採用されるなど、幅広い活動を行っている。

メンバーのほか、和太鼓が好きな会員3人も参加、ステージに立つ日を目標に練習に励んでいる。

和田さんは「こしは10周年で秋に記念の演奏会を開く予定で、演奏に磨きをかけています」と話している。

メンバーの練習日は原則毎週・毎週午後6時～9時。会員はメンバーの練習日のうち月3回参加、月会費3,000円。

問い合わせ ☎ 090-9362-9774 和田さん。



練習する羽瑠のメンバー